

中部西小学校



<所在地>

〒510-0081 四日市市北町 2-23

TEL 059-359-0290

1 読書活動の推進について

(1) 読書への関心・意欲の向上

読み聞かせや図書館まつりの実施を中心に、児童が多様な読書体験を積む機会を設けた。特に『田んぼのいのち』『川のいのち』などの読み聞かせは、高学年でも物語の世界に引き込まれる姿が多く見られ、読書への心理的ハードルが下がる効果があった。読み聞かせ後には関連作品を自ら手に取る児童が増加し、読書意欲の向上が明確に見られた。また、図書館まつりや読書郵便などの企画により、本への興味や学年間交流も高まった。



(2) 家庭読書の推進

「家庭読書タイムの記録」を春・夏・秋・冬の節目で実施し、学校と家庭を読書でつなぐ仕組みを整えた。記録カードには児童のふりかえりに加え、家の人からのメッセージ欄を設けたことで、家庭内で読書を話題として共有する時間が生まれた。「読書量が増えた」「親子で本の話をした」という声も多く、家庭読書の定着に寄与した。

2 授業での学校図書館の活用

国語科を中心に、児童が資料を選び取り、整理し、表現する力を育てるために、司書と連携した図書館活用を進めた。「どうぶつカードを作ろう」では、動物図鑑や関連書を司書に選書してもらい、調べたい動物ごとに図鑑を使い分けながら情報を

まとめる活動を行った。「むかし話をしようかいしよう」では、複数の絵本を比較しながら読み、内容や表現の違いに気づく姿が見られた。司書による幅広い選書と資料の整理が、児童の新たな興味を引き出し、読書が学習理解を深める土台となった。

3 思考力・判断力・表現力を高める読書活動

「おすすめの本の紹介」では、児童がタブレットでスライドを作成し、内容・見どころ・好きな場面などを理由とともに紹介した。説明の工夫や比較・理由づけが求められる活動であり、表現力の向上が見られた。担任による読み聞かせや学級文庫の活用、国際理解に関わる本の配置などにより、児童は自分の興味や感じ方をもとに本を選び、友だちと意見交換する姿が増えた。『手ぶくろを買いに』では、「人間は優しいのか」「きつねはどう思ったのか」など考えを深める対話が生まれ、思考力の向上も確認できた。

4 成果と課題、今後の方向性について

多面的な読書活動を継続的に行ったことで、児童の読書意欲が向上し、読書の幅も広がった。読み聞かせや並行読書、家庭読書、司書との連携が互いを補い合い、「自分で選ぶ」「比べて読む」「感じたことを表現する」といった姿が多く見られるようになった。

今後は、誰もが取り組みやすい家庭読書の支援、学年に応じた読書スキルの系統的指導、司書との協働による展示や読み比べ環境の充実などを通して、学校図書館が“学びの拠点”としてさらに機能するよう整えていきたい。読書が児童の生活と学習に自然に根づき、思考し、判断し、表現する力につながるよう、継続的に取り組んでいく。

